

京橋消防署から

緊急のお知らせ！

築地地区において住宅火災による死者が発生しました

写真はイメージです

火災による死者の**約9割**は
住宅で発生しています

火の出る場所を知る

東京消防庁管内では平成30年から令和4年までの5年間に住宅火災による死者が360名発生し、出火原因の約半数(181名)がたばこ・ストーブ・こんろ・コードによるものです。

たばこ 住宅火災の死者発生率第1位

火種は微小なものでも無炎燃焼が続き、気づかぬうちに大きな炎へと拡大します。



ストーブ 約8割は電気ストーブ

布団などの可燃物が接触し火災に至る事例が多く発生しています。



こんろ 出火原因第1位

目を離したり、油断したときが要注意!



コード 身近に潜み知らぬ間に出火

劣化したり、負荷が強くなることで出火する可能性が!



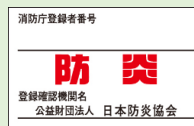
いま、備えよう。火災から命を守る3つの住宅防火対策。

1. 消火器での有効な初期消火を
～火を使う場所に備えましょう～



2. 防災品で延焼拡大防止を
～防災マークが目印です～

防災品ラベルは2種類あります



←防災物品ラベル
↓防災製品ラベル



提供：日本防災協会

※ ラベルには様々な様式があります。

3. 住宅用火災警報器で火災の早期発見を

～鳴らない住宅用火災警報器が増えています!～



半年に1回以上の作動確認で、正常に動くか確認しましょう!

